

企業連携職業訓練をご利用いただいた皆様の声

事業所名：株式会社アドバネット

所属先：人事課、総務課

ご担当者：能勢陽子リーダー、四谷めぐみリーダー

今回、お互いをよく知った上で、採用の可否を検討するために、企業連携職業訓練（以下「訓練」という。）を利用することにしました。

採用前にAさんの障害特性や吉備職リハでの様子を細かく説明していただけたことで、Aさんが落ち着いて訓練を始められるよう、事前に業務内容（日程、内容、担当者など）をまとめた資料も用意できました。実際の訓練では、社内にある仕事の中から幅広い視点でAさんに合う仕事を検討し、複数の仕事を体験してもらいました。その結果、Aさんと事業所がお互いに納得した上で、採用につなげることができました。また、訓練期間中には、Aさんがメールでのやり取りに戸惑う場面がありましたが、吉備職リハの職員の方が、訓練の合間に補足説明してくださったおかげで、その後は落ち着いて訓練を進めることができました。また、支援機関も紹介していただき、採用後も困った時に支援が受けられるという安心感があります。現在、Aさんは非常に落ち着いて仕事できています。真面目な仕事ぶりで他の課から応援を頼まれることもあります。



ご本人の声（245期修了生：Aさん・発達障害）

様々な作業を体験させていただいたので、こういう作業は分かりやすい、この作業は難しいといったことが、自分でも分かることができ良かったです。また、どこの部署の皆さんも優しく、分からないことがあっても声をかけやすかったので、安心しました。就職する前に作業内容が分かり、就職時のイメージがしやすくなりましたし、雰囲気や環境が分かり不安が少なくなりました。



訓練初日は、やはり緊張してしまうので、吉備職リハの職員の方が来てくれて心強かったですし、訓練中もバックアップしていただいて、安心して作業することができました。



現在、生産課で、基板に実装する電子部品の数量を専用機械で確認したり、上記の写真のように電子部品を取り付けしたり、それを実装装置にセットする作業を行っています。また、必要に応じて、梱包用の段ボールの組立や基板加工時のマスキングテープ貼り付けを手伝うこともあります。

今後は、作業のやり方や流れをさらに覚えて、スムーズに無駄なく動けるようにしていきたいです。また、部品やモノの名前や役割を少しずつ覚えていきたいです。